

農作物等に対する野生鳥獣被害対策セミナーを開催

要約

兵平成27年2月26日に大淀町文化会館で、野生鳥獣の保護管理学、栄養生理学を専門とされて、兵庫県立大学の横山先生から、ニホンジカの被害対策と捕獲獣の有効活用について学んだ。また、和歌山県果樹試験場の^{ほうげん}法眼先生からは、傾斜地果樹園の鳥獣被害の事例を紹介いただき、その対策について学んだ。セミナーには91名が参加。

現状(背景)と課題

- 県南部の12市町村では、野生鳥獣による農林業被害は、深刻な課題となっている。
- 「被害対策に取り組む人材育成」「被害防除」「個体数調整」「生息環境整備」といった対策を総合的に地域ぐるみで取り組めていない。
- 捕獲した鳥獣(資源)を十分に有効活用できていない。



目標

- 地域の野生鳥獣被害対策に携わっていただくための知識を高める。
- 地域リーダーに対して、地域ぐるみで鳥獣被害対策に取り組むよう、意識啓発を図る。
- 有効活用について、検討の機会を設ける。

活動内容

- 五條吉野地域の12市町村の役場、農業委員会、農協、県南部農林振興事務所で組織する五條吉野農業推進協議会で地域の農業振興に努めている。
- 今年度は、五條吉野地域で野生鳥獣による農産物等の被害が深刻な課題となっていることから「野生鳥獣被害対策」をテーマにセミナーを開催した。

成果

- 今回の参加者(地域リーダー)には、鳥獣害対策についての知識を高めてもらった。
- 地域ぐるみで対策に取り組むことが大切であるということを確認してもらった。
- ジビエの加工品の試食・展示により、具体的なイメージを持って、有効活用について考えていただく機会となった。



講師：兵庫県立大学 横山真弓氏



講師：和歌山県果樹試験場 法眼利幸氏



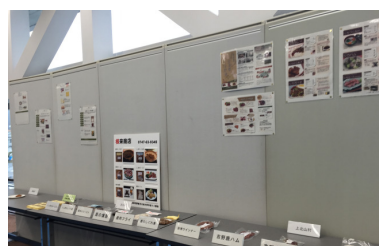
受講されている方々



試食・展示会場



試食



加工品の展示

普及活動のポイント

- 12市町村で共通して地域活性化に役立つテーマを選定してセミナーを開催した。
- セミナーの開催について、管内12市町村および各種農業団体、県関係機関と連携して、周知徹底を図った。

対象の変化

- 鳥獣被害対策は、地域ぐるみで取り組むことが大切であるということを確認していただいた。
- シビエの加工品の試食・展示により、捕獲鳥獣の有効活用について具体的なイメージを持っていた。

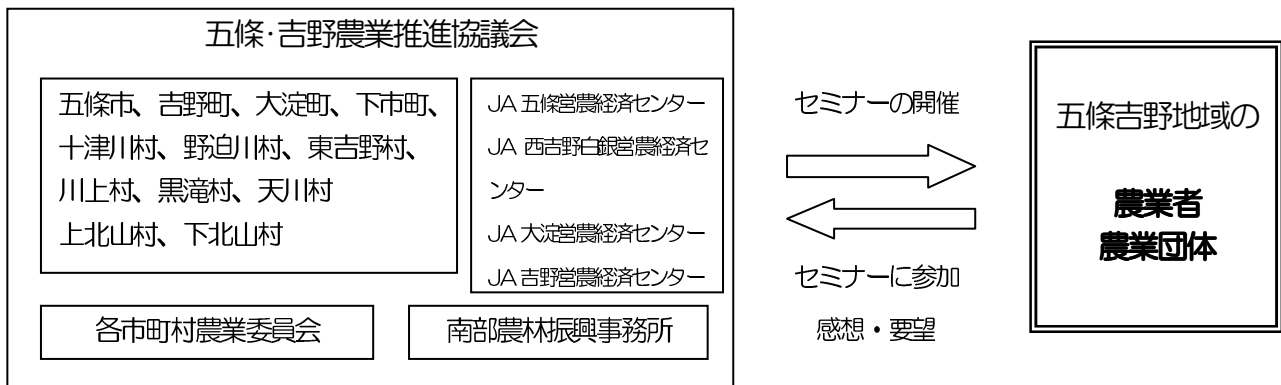
対象者からのコメント

- 事例による説明のため、具体的でわかりやすかった。
- 鳥獣の生態・対策のポイントについて理解できた。
- 地域ぐるみの対策を検討する必要性を感じた。

これからの活動ビジョン

- セミナーの開催は地域に定着しつつあり、関係団体や農業者には認知されてきている。引き続き、県南部農林振興事務所と五條・吉野農業推進協議会とが協力して地域の農業振興および地域特産物の育成に努めていく。

活動体制



用語解説

○五條・吉野農業推進協議会

南部農林振興事務所管内の市町村、農業委員会、農協と農林振興事務所により構成され、現会長は五條市長。農業生産体制の確立、農村生活の活性化、農業後継者育成等、農業振興に関わる事業を実施。